

令和8年度 シラバス 【音楽Ⅰ】

11 新潟県立新潟翠江高等学校（通信制課程）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
選択必修	2	6	8	0
教科書			学習書・その他教材	
MOUSA（ムーサ）1（教育芸術社）			学習書：音楽通論（教育芸術社） 副教材：音楽の鑑賞資料と基礎学習（教育芸術社）	

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①生涯にわたって自ら意欲的に学び続け、目標に向かって努力する態度を育成します。 ②互いの人権や考えを尊重し、命を大切にする心と行動力を育成します。 ③社会的・職業的自立に必要なとなる勤労観や職業観を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う～ ①多様な生徒の学習歴や興味・関心に合わせた科目選択ができる教育課程を編成します。 ②思考力・判断力・表現力の獲得を目指した、学びを充実させる丁寧な面接指導（スクーリング）を行います。 ③生徒が自学自習しやすい報告課題（レポート）を作成し、生徒の学びを深める丁寧な添削指導を行います。 ④放送視聴や平日校外スクーリングなど、通信制の特徴を活かした多様な学び方を促します。 ⑤コミュニケーション能力の伸長を図るため、生徒交流会や運動会、体験学習等の特別活動を行います。

学習目標

○芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

学習内容

1. 楽譜の読み方（楽譜を読むにあたっての基本的な知識、「見上げてごらん夜の星を」他）…レポート1
2. 歌曲（ゲーテ作詞の「野ばら」を中心に歌詞の意味を考えながら旋律を味わう）…レポート2
3. ギター（基本的な奏法の知識と実習および即興演奏）さまざまな楽器…レポート3
4. 日本の伝統音楽（日本の伝統音楽や伝統芸能に親しむ）…レポート4
5. 音楽史①（ルネッサンス～バロック時代を中心に基本的知識の学習と鑑賞）…レポート5
6. 音楽史②（古典派の音楽を中心に基本的知識の学習と鑑賞）…レポート6

学習方法

《レポートの作成，提出，添削》

報告課題（レポート）の順に従って、各自が課題のねらい，趣旨を理解して解答する。提出されたレポートは担当者からの添削の後に返送される。添削の趣旨を次の学習（レポート作成）に活かす。

《授業について》

各レポートのねらいや，レポート作成のための考え方を説明する。また，レポートの内容に関する曲の鑑賞や，表現活動など，実際の音に触れる機会をもつようにする。

評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
音楽の構成要素を理解し，その働きを感じ、理解や感じたことを表現できる基礎的な技術を身に付けている。	音楽作品、作曲家、演奏家、作詞家、楽器、奏法、音楽史など諸分野について理解を進め、それらを生かして自己の音楽表現に反映している。	音楽の幅広い活動に興味を持ち主体的に課題へ取りもようとしている。生涯に渡って音楽を愛好する心情を育むとともに感性を高めようとしている。

評価方法

各観点における評価方法は次のとおりです。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ ・ レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・ レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・ レポートの内容の分析 などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分に満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

担当者からの一言

1. 授業（スクーリング）は、提出するためのレポートを作成する場面ではなく、各自が自宅で取り組むためのヒントを提示する機会です。授業の内容、教科書、学習書などをたくさん活用してレポートを作成するようにしてください。
2. レポートの記入に当たっては、問題の指定を守り、はっきりとした字で丁寧に書くようにしましょう。特に音符等、楽譜を記入するときには注意して、正確に書くよう心がけてください。
3. 授業では、実際の音に触れる機会をなるべく多く持つようにします。実際の音に触れることで分かることが非常に多いため、授業でもその他の機会でも、音楽に触れることを大切にしてください。